

## II 調査結果の利用方法

### 1 インターネットでの利用方法

国勢調査の結果は、総務省統計局及び政府統計の総合窓口（e-Stat）ホームページから利用することができます。

総務省統計局ホームページ

URL <http://www.stat.go.jp/index.htm>

政府統計の総合窓口（e-Stat）ホームページ

URL <http://www.e-stat.go.jp>

#### (1) 結果の解説・グラフなど ～結果のポイントを知りたい場合～

結果のポイントについて、表やグラフなどを交えて解説しています。

- 「平成27年国勢調査」のページ⇒「調査の結果」⇒集計体系及び結果の公表等一覧「概要等」を参照

《参考》

平成22年調査の結果についても、「平成22年国勢調査」のページから同様に利用できます。

#### (2) 統計表 ～詳しいデータを調べたい場合～

調査の結果（「I 調査結果の集計体系と公表時期」（p. 1～4）参照）を、すべてダウンロードすることができます。平成27年国勢調査統計表一覧のページへは、以下の手順で進みます。

##### 手順1 平成27年国勢調査最新結果一覧のページを表示

以下のア又はイの方法で、平成27年国勢調査最新結果一覧のページを表示します。

ア 総務省統計局ホームページの「平成27年国勢調査」のページから、

- ① 「調査の結果」にある「統計表一覧」をクリック

イ 政府統計の総合窓口（e-Stat）トップページから、

- ① 「統計データを探す」の中の「主要な統計から探す」をクリック
- ② 「国勢調査」をクリック
- ③ 「平成27年国勢調査」をクリック

## 手順2 集計区分を選択

平成27年国勢調査統計表一覧のページから、利用したい統計表が含まれる集計区分を選択します。(図は平成22年国勢調査のページ)

「全国結果」  
原則として全国の結果を掲載しています。また、一部の表については、全市区町村を一覧にした統計表を掲載します。

「都道府県結果」  
都道府県及び市区町村の結果を掲載しています。  
「+」をクリックすると、都道府県一覧が表示されます。

## 手順3 統計表を選択

統計表一覧が表示されますので、利用したい統計表の「CSV」ボタンをクリックすると、統計表が表示されます。

表番号	統計表	CSV	DB
1	人口、人口増減、面積及び人口密度 - 全国※、全国市部※、全国郡部※、都道府県※、市部※、郡部※、市町村※・旧市町村	CSV	DB
2	男女別人口及び世帯の種類(2区分)別世帯数 - 全国※、全国市部※、全国郡部※、都道府県※、市部※、郡部※、市町村※・旧市町村	CSV	DB
3-1	年齢(各歳)、男女別人口、年齢別割合、平均年齢及び年齢中位数(総数及び日本人) - 全国※、全国市部※、全国郡部※、都道府県、20大都市	CSV	DB

利用したい統計表がどの区分に含まれているかわからないときは

ア 下の表を参照してください。

イ より詳細に調べたい場合は、「集計事項」を参照してください。

利用したい統計	集計区分	公表時期(予定)
○ 男女別人口及び世帯数(速報値)	人口速報集計 (要計表による人口集計)	平成28年2月
○ 年齢・配偶関係別の人口(速報値) ○ 就業状態別の人口(速報値) ○ 単身世帯・高齢者のみの世帯の数(速報値)	抽出速報集計	平成28年6月
○ 男女・年齢・配偶関係別の人口 ○ 世帯の構成・住居の種類別の世帯数 ○ 高齢者のいる世帯数 ○ 外国人人口・外国人のいる世帯数 ○ 人口集中地区	人口等基本集計	平成28年10月
○ 就業者・非就業者、失業者の人口 ○ 産業・職業(大分類)別の就業者数	就業状態等基本集計	平成29年4月(注)
○ 母子・父子世帯数 ○ 親子が同居している世帯数 ○ 従業・通学時の世帯の状況	世帯構造等基本集計	平成29年9月(注)
○ 産業・職業の詳細な分類(小分類)でみた就業者数	抽出詳細集計	平成29年12月(注)
○ 通勤・通学先による男女・年齢別人口(昼間人口) ○ 就業者・通学者の通勤・通学先市区町村 ○ 通勤先の地域での産業別の就業者数	従業地・通学地による人口・就業状態等集計	平成29年6月
○ 通勤先の地域での産業・職業(中分類)別の就業者数	従業地・通学地による抽出詳細集計	平成29年12月
○ 人口の転出入数	移動人口の男女・年齢等集計	平成29年1月
○ 5年間に住居を移動した人の就業者数や産業別の就業者数	移動人口の就業状態等集計	平成29年7月
○ 町丁・字等別の男女別人口や世帯数	小地域集計	各集計の完了後

(注) 全国の結果の公表予定時期であり、都道府県別の結果は、集計の完了したのから順次公表します。

### (3) 時系列データ等 ～過去の結果を利用したい場合～

国勢調査は、大正9年（1920年）から5年ごとに行われており、政府統計の総合窓口（e-Stat）のホームページ上で、時系列で調査結果を利用することができます。

「時系列データ」等を利用する手順は、以下のとおりです。

政府統計の総合窓口（e-Stat）トップページから、

- ① 「主要な統計から探す」をクリック
- ② 「国勢調査」をクリック
- ③ 「時系列データ」のうち利用したい集計事項をクリック

<国勢調査結果の提供データファイルについて>

調査年	提供データファイル
平成27年 平成22年	C S V形式及びデータベース <sup>(注)</sup> 形式で統計表を掲載
平成17年 平成12年	エクセル形式及びデータベース形式で統計表を掲載
昭和60年～平成7年 昭和55年（一部）	データベース形式で統計表を掲載
大正9年～昭和55年	主要な報告書について、P D F形式で掲載

(注) データベースの利用方法は、「Ⅶ データベースを用いた統計表の編集のしかた」(p. 127～)を参照してください。

### (4) 調査結果を表した地図 ～視覚的に結果を見たい場合～

国勢調査の結果を地図上に表したものを、総務省統計局ホームページでも一部を利用することができます。

#### ① 人口集中地区<sup>(注)</sup>境界図

都道府県ごとの人口集中地区の範囲を掲載した地図です。

政府統計の総合窓口（e-Stat）の「地図による小地域分析(jSTAT MAP)」でも人口集中地区境界を見ることができます。

(注)「人口集中地区」とは、国勢調査の結果を基に、都市的な地域を定めたものです。詳しくは、「Ⅳ 国勢調査の結果で用いる用語の解説」の「人口集中地区」(p. 56)を参照してください。

#### ② 都道府県・市区町村別特性図

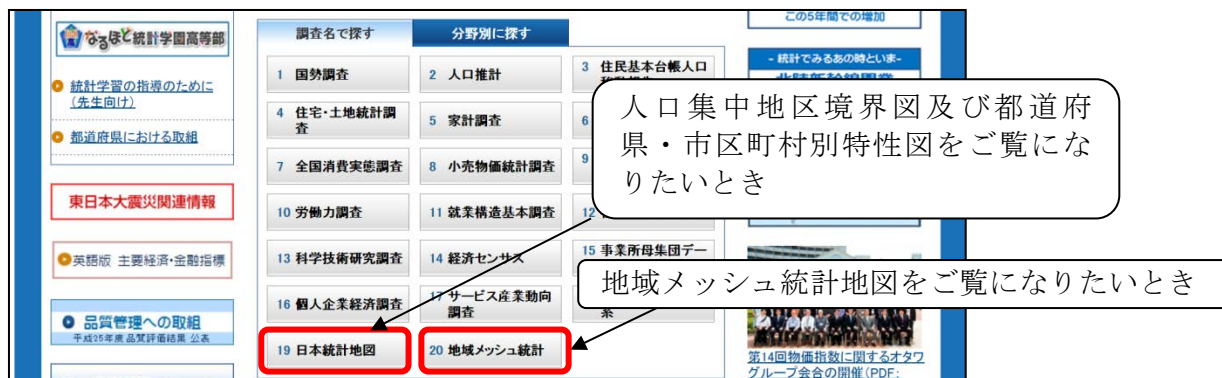
都道府県、市区町村別の主要な指標（人口増減率、人口密度等）を掲載した地図です。

#### ③ 地域メッシュ統計地図

地域メッシュ統計地図は、日本全国を緯度・経度に基づきすき間なく網の目（メッシュ）に区切り、その区域ごとに色分けして人口などの情報を表した地図です（p. 61参照）。地域間の比較に便利です。

これらの地図を利用する手順は、以下のとおりです。

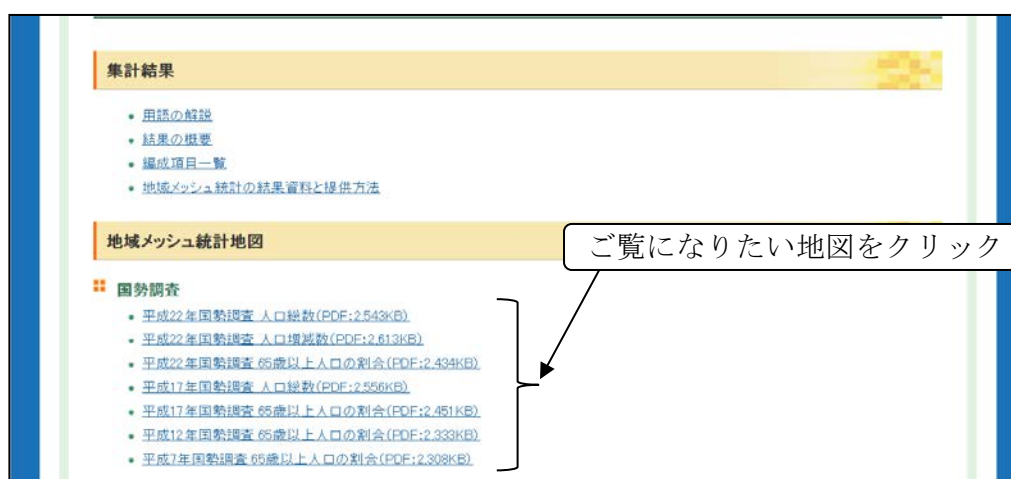
手順1 総務省統計局ホームページの「調査名で探す」から、人口集中地区境界図及び日本統計地図は、「日本統計地図」をクリック  
地域メッシュ統計地図は「地域メッシュ統計」をクリック



手順2-1 人口集中地区境界図及び日本統計地図は、左側の囲みから「国勢調査」を選択し、利用したい項目をクリック



手順2-2 地域メッシュ統計地図は、左側の囲みから「地域メッシュ統計の集計結果」を選択し、国勢調査の地域メッシュ統計地図をクリック



## (5) 統計データと地図を組み合わせて利用するツール

～地図上に結果を表したものを独自に作りたい場合～

政府統計の総合窓口（e-Stat）から利用できる「統計GIS<sup>(注)</sup>」を用いて、以下のよう  
な分析や地図の編集ができます。

- ① 国勢調査の町丁・字等別の小地域統計データと地図データとを組み合わせること  
により、地理的な分析を地図上で視覚的に行うことができます。
- ② 約1キロメートル四方となる「基準地域メッシュ」及び約500メートル四方となる  
「2分の1地域メッシュ」、さらに一部の地域については約250メートル四方となる  
「4分の1地域メッシュ」に基づいて「地域メッシュ統計」を編集することもでき  
ます。
- ③ 小地域統計データ（町丁・字等別）をダウンロードすることもできます。

なお、「国勢調査統計表一覧」にも小地域集計の統計表を掲載しています。

(注) GIS（地理情報システム）とは、デジタル化された地図データと、統計データや位置、空間に  
関する情報などを統合的に扱うシステムです。

このツールを利用する手順は、以下のとおりです。

手順1 政府統計の総合窓口（e-Stat）トップページから、「地図で見る統計（統計  
GIS）」をクリック



手順2 「地図で見る統計（統計GIS）」の各項目が表示されるので、利用したい  
項目をクリック

<p>▶ <b>地図に表す統計データ</b></p> <p>さまざまな統計情報を地図上に表示し、グラフ表示や統計値の集計をします。統計情報の詳細 (統計項目選択⇒地域選択⇒地図操作画面)</p>	← 地理的な分析を行うとき 地域メッシュ統計を編集するとき
<p>▶ <b>データダウンロード</b></p> <p>各種データをダウンロードします。各種データの詳細は <a href="#">こちら</a> (統計項目選択⇒地域選択⇒ダウンロード画面)</p>	← 小地域統計データ（町丁・字等別） 及び地域メッシュ統計データをダウ ンロードするとき
<p>▶ <b>市区町村合併情報</b></p> <p>2つの時点間の市区町村合併情報を地図上で確認します。 (時点設定⇒地域選択⇒合併状況確認画面)</p>	← 平成12年10月1日以降の市区町村合 併情報をご覧になりたいとき
<p>▶ <b>操作解説</b></p> <p>操作手順をHTML及びアニメーションで説明します。</p>	



《参考》

○jSTAT MAPについて

統計局と統計センターでは、「統計におけるオープンデータの高度化」の一環として、インターネット上で利用できる地図による小地域分析（jSTAT MAP）を提供しています。jSTAT MAPは、登録をすればどなたでも無償で利用できます。

手順 政府統計の総合窓口（e-Stat）トップページから、「GIS機能 地図による小地域分析（jSTAT MAP）」をクリック



## 2 報告書等での利用方法

国勢調査の結果は、インターネット等により公表した後、主な結果を収録した報告書を刊行します。また、調査結果の解説や、主要な結果を視覚的に表した地図も刊行します。

報告書等は、総務省統計図書館のほか、都道府県立図書館などで閲覧できます。

### (1) 平成27年国勢調査報告

「平成27年国勢調査報告」とは、全国、都道府県別、市区町村別の結果及び人口集中地区の結果のうち、主なものを収録したもので、インターネット等により全国結果を公表した3～5か月後に刊行します。それぞれの報告書の種類、収録統計表の主な内容及び刊行予定時期は、下の表のとおりです。

#### 平成27年国勢調査報告の構成（予定）

報告書の種類	収録統計表の主な内容	刊行予定時期
第1巻 人口・世帯総数	*全国、都道府県別、市区町村別の人口・世帯数・面積 *人口集中地区の人口・世帯数・面積 (過去の結果も一部収録)	平成29年3月
第2巻 人口等基本集計結果 その1 全国編 その2 都道府県・市区町村編（12分冊）	*人口の男女・年齢・配偶関係別構成 *世帯の構成・住居の状態 *高齢者世帯の状況 *外国人のいる世帯の状況	平成29年3月
第3巻 就業状態等基本集計結果 その1 全国編 その2 都道府県・市区町村編（12分冊）	*人口の労働力状態別構成 *夫婦、子供のいる世帯等の産業・職業大分類別構成	平成29年9月
第4巻 世帯構造等基本集計結果 その1 全国編 その2 都道府県・市区町村編（12分冊）	*母子・父子世帯の状況 *親子の同居の状況	平成30年1月
第5巻 抽出詳細集計結果 その1 全国編 その2 都道府県・市区町村編（12分冊）	*産業・職業の詳細な分類（小分類） でみた就業者の構成	平成30年7月
第6巻 I 従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果 その1 全国編 その2 都道府県・市区町村編（12分冊）	*従業地・通学地による人口（昼間人口）の男女・年齢別構成 *就業者・通学者の従業地・通学地 *従業地による就業者の産業・職業（大分類）別構成	平成29年10月



報告書の種類	収録統計表の主な内容	刊行予定時期
第6巻 II 従業地・通学地による抽出詳細集計結果 全国・都道府県編	*従業地による就業者の産業・職業（中分類）別構成	平成30年7月
第7巻 人口移動集計結果 その1 全国編 その2 都道府県・市区町村編（12分冊）	*人口の転出入状況及び世帯の移動類型に関する結果 *移動人口の労働力状態，産業・職業大分類別構成	平成29年11月
最終報告書 日本の人口・世帯（上巻・下巻）	*過去の調査結果を含め，国勢調査の結果を総合的に取りまとめたもの	平成31年3月

- (注) 1 各巻には，主要な統計表に人口集中地区の結果も併せて収録しています。
- 2 「平成27年国勢調査報告」の第2巻～第7巻に収録する統計表の一覧及び各巻に収録しない統計表の一覧については，平成27年国勢調査結果の「集計事項一覧」を参照してください。
- 3 都道府県・市区町村編はそれぞれ12分冊となっていますが，地域の編成区分は表のとおりを予定しています。

分冊	掲載する都道府県
北海道・東北 I	北海道，青森県，岩手県
東北 II	宮城県，秋田県，山形県，福島県
関東 I	茨城県，栃木県，群馬県
関東 II	埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県
中部 I	新潟県，富山県，石川県，福井県，山梨県
中部 II	長野県，岐阜県，静岡県，愛知県，三重県
近畿 I	滋賀県，京都府，大阪府
近畿 II	兵庫県，奈良県，和歌山県
中国	鳥取県，島根県，岡山県，広島県，山口県
四国	徳島県，香川県，愛媛県，高知県
九州 I	福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県
九州 II・沖縄	大分県，宮崎県，鹿児島県，沖縄県

- 4 第1巻には，平成22年国勢調査の調査日の翌日（平成22年10月2日）から平成27年国勢調査の調査日までの間における市区町村の廃置分合・境界変更・名称変更の一覧を付しています。同様の一覧は，第2巻の各都道府県・市区町村編にも付しています。

## (2) 抽出速報結果報告書

平成27年国勢調査の結果を早期に利用できるように、偏りが発生しないような統計的手法により抽出した、全世帯の約100分の1の世帯の調査票を用いた集計結果（抽出速報集計）のうち、主なものを収録したものです。

### 平成27年国勢調査 抽出速報結果報告書（予定）

報告書の種類	収録統計表の主な内容	刊行予定時期
平成27年国勢調査抽出速報集計結果	*人口の男女・年齢・配偶関係別構成 *人口の労働力状態別構成 *就業者の産業（小分類）・職業（小分類）別構成 *世帯の構成・住居の状態	平成28年9月

（注）全国の結果のほか、各都道府県（21大都市を含む。）の主要な統計表も併せて収録する予定です。

## (3) 解説シリーズ

「解説シリーズ」とは、国勢調査の結果をインターネット等により公表した後に、過去の調査と比較した結果や解説を加えた報告書です。

### 平成27年国勢調査 解説シリーズの構成（予定）

報告書の種類	内容の概略	刊行予定時期
ライフステージでみる日本の人口・世帯	日本の人口及び世帯について、ライフステージ別に解説したもの	平成29年3月
我が国人口・世帯の概観	我が国の人口及び世帯の地域分布、構造及びそれらの動向を分析、解説したもの	平成30年3月
POPULATION AND HOUSEHOLDS OF JAPAN	我が国の人口及び世帯の地域分布、構造及びそれらの動向を英語で分析、解説したもの	平成30年7月

（注）解説シリーズの構成は、報告書の名称を含め、変更することがあります。

#### (4) 地図シリーズ

「地図シリーズ」とは、国勢調査の結果のうち、人口集中地区の境界や、市区町村別の主要な指標等を地図上で視覚的に表したものです。

#### 平成27年国勢調査 地図シリーズの構成（予定）

報告書の種類	内容の概略	刊行予定時期
我が国の人口集中地区	我が国の人口集中地区について、人口、面積及び境界図を、また、準人口集中地区について、人口及び面積を収録したもの <sup>(注)</sup>	平成29年3月
日本人口地図帳	国勢調査の結果による市区町村別の主要な指標（人口増減率、人口密度等）を、地図上で視覚的に表したもの	平成29年以降 順次

(注)「人口集中地区」及び「準人口集中地区」とは、国勢調査の結果を基に、都市的な地域を定めたものです。詳しくは、「IV 国勢調査の結果で用いる用語の解説」の「人口集中地区」及び「準人口集中地区」(p. 56)を参照してください。

#### (5) 調査区の境界把握に用いる調査区地図・調査区一覧表

国勢調査の調査区地図及び調査区一覧表は、市区町村内の町丁・字等別の地域範囲や調査区の境界確認に用いるものです。これらは、所定の手続を行った上で、総務省統計図書館及び都道府県、市区町村の統計主管課で閲覧できます。

#### (6) 過去の報告書、CD-ROM等

過去の調査結果を収録した報告書やCD-ROM等は、総務省統計図書館のほか、都道府県立図書館などで閲覧できます。

報告書等	閲覧できる場所
平成22年以前の国勢調査の報告書等 (詳しくは、「参考4 各回の国勢調査報告書等一覧」(p. 148～)を参照してください。)	総務省統計図書館 都道府県立図書館
平成12年、平成17年及び平成22年の国勢調査の結果を収録したCD-ROM	総務省統計図書館 都道府県、市区町村の統計主管課
平成7年以前の国勢調査の結果プリント、マイクロフィルム及びCD-ROM	総務省統計図書館

総務省統計図書館の連絡先は、以下のとおりです。

総務省統計図書館      〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1  
TEL 03(5273)1132  
URL <http://www.stat.go.jp/library/index.htm>